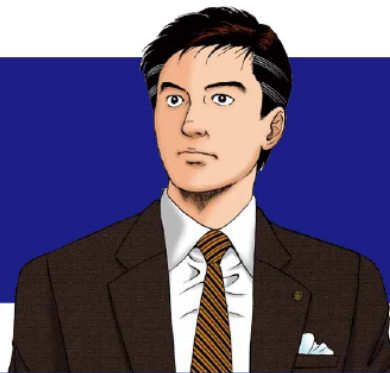


すべてのビジネスパーソンに必要な法律知識を身につける

ビジネス実務法務 検定試験[®]

2 級

3 級



東京商工会議所検定試験
特任アンバサダー
島 耕作
「社会をよくする企業応援プロジェクト」
公式アンバサダー

©弘兼憲史/講談社



	申込期間	試験期間	受験料(税込)
第 55 回	5 月 17 日(金)～ 28 日(火)	6 月 21 日(金)～ 7 月 8 日(月)	2 級 7,700 円 3 級 5,500 円
第 56 回	9 月 20 日(金)～ 10 月 1 日(火)	10 月 25 日(金)～ 11 月 11 日(月)	※CBT 方式は、利用料 2,200 円(税込)が別途発生します。

※1 級の試験要項については、東京商工会議所検定試験ウェブサイトをご確認ください。

ビジネス実務法務検定試験[®]とは

企業が求める実践的な法律知識を身につける

ビジネスにおいて業務上の法的リスクを事前にチェックし、問題点を解決に導く法律の知識は、法務部門に限らず、全てのビジネスパーソンにとって必要不可欠です。そのための基礎となる実践的な法律知識を体系的・効率的に学ぶことができるのがビジネス実務法務検定試験です。

企業は、なぜ法律知識をビジネスパーソンに求めるのか？

企業には消費者、取引先、株主等、さまざまな利害関係者が存在します。コンプライアンス違反や不祥事により、こうした関係者の利益や立場を損なった企業は、損害賠償などの民事責任や刑事責任に加え、社会からも厳しいペナルティーを受けます。こうしたリスクを未然に防ぐためにも、企業は法令等を遵守しながら業務を遂行できる能力のある社員を求めているのです。



累計受験者 90 万人 多くの企業が「ビジ法」を採用

今日、ガバナンスの強化やコンプライアンスの徹底は企業活動の根幹であり、持続的な成長に不可欠な要素となっています。ビジネス実務法務検定試験は、社員のコンプライアンス意識向上に向けた学習ツールとして、多くの企業で採り入れられ、新入社員教育や管理職登用など様々なシーンで活用されています。

試験概要

■IBT・CBTの2方式

※IBT (Internet Based Testing) は、各自のコンピュータで受験する方式。CBT (Computer Based Testing) は、テストセンターのコンピュータで受験する方式。

■試験時間 90 分

■多肢選択式

■出題範囲：各級公式テキスト(最新版)の基礎知識と、それを理解した上での応用力を問います。※2023 年 12 月 1 日現在成立している法律に準拠し、出題いたします。

■100 点満点とし、70 点以上をもって合格とします。

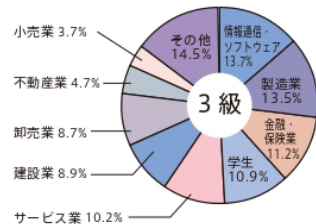
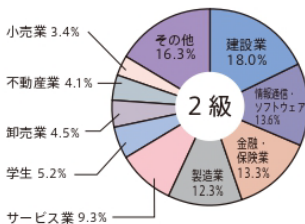
試験の詳細は、検定試験ウェブサイトをご確認ください。

各級の基準

級	レベル
2 級	企業活動の実務経験があり、弁護士などの外部専門家に対する相談といった一定の対応ができるなど、質的・量的に法律実務知識を有している。(知識レベルのアップパーレベルを想定)
3 級	ビジネスパーソンとしての業務上理解しておくべき基礎的知識を有し、問題点の発見ができる。(ビジネスパーソンとしての最低限知っているべき法律実務基礎知識を想定)

受験者データ

受験者の業種



試験結果

	受験者	実受験者	合格者	合格率	
第 52 回 (2022 年 10 月)	2 級	6,392	5,549	2,807	50.6%
	3 級	7,955	7,307	5,866	80.3%
第 51 回 (2022 年 7 月)	2 級	5,040	4,249	2,246	52.9%
	3 級	7,370	6,261	5,427	86.7%

主催 東京商工会議所・各地商工会議所

“ビジネス実務法務検定試験”は東京商工会議所の登録商標です。

【本件担当】 守山商工会議所 検定担当

TEL:077-582-2425 Mail:kentei@moriyama-cci.or.jp